



ホームページアドレス <http://www.kk-mitsuboshi.co.jp>

株主の皆様のお声を聞かせてください

当社では、株主の皆様のお声を聞かせいただくため、アンケートを実施いたします。
お手数ではございますが、
アンケートへのご協力をお願いいたします。

●アンケート実施期間は、本書がお手元に到着してから約2ヶ月間です。

ご回答いただいた方の中から抽選で簿贈(図書カード500円)を差し上げさせていただきます



※本アンケートは、株式会社 a2media (エー・ツー・メディア) の提供する「e-株主リサーチ」サービスにより実施いたします。
(株式会社 a2media についての詳細 <http://www.a2media.co.jp>)
※ご回答内容は統計資料としてのみ使用させていただきます。事前の承諾なしにこれ以外の目的に使用することはありません。

●アンケートのお問い合わせ「e-株主リサーチ事務局」 TEL: 03-5777-3900 (平日 10:00~17:30) MAIL: info@e-kabunushi.com

下記URLにアクセスいただき、アクセスコード入力後に表示されるアンケートサイトにてご回答ください。所要時間は5分程度です。



<http://www.e-kabunushi.com>
アクセスコード 5820

いいかぶ

検索



空メールにより URL 自動返信 kabu@wjmt.jp へ空メールを送信してください。(タイトル、本文は無記入) アンケート回答用のURLが直ちに自動返信されます。



携帯電話からもアクセスできます QRコード読み取り機能のついた携帯電話をお使いの方は、右のQRコードからもアクセスできます。



ユニバーサルデザイン(UD)の
考えに基づいた見やすいデザインの
文字を採用しています。

証券コード 5820



2017 Business Report

第72期 報告書

平成28年4月1日～平成29年3月31日



企業理念

三ツ星は「誠意・熱意・創意」を基本姿勢とし、
品質・価格・物流の最適化を図り、
お客様により高い価値を提供してまいります。

ポリマテック事業

お客様との共同開発で高付加価値製品を創造

ポリマテック事業部門ではお客様からの商品企画について、その構想段階から製品設計、試作等の共同開発を行い、製品を納入するという受注生産を基本としてお客様とともに歩む姿勢を貫いています。
主製品としては建築用ガスケット類・手摺り・配線カバー・幅木などで、施工性の良さと品質面等で高い評価を得ています。
また、環境対応というテーマからプラスチック廃材の再生利用にも力を入れ取り組んでおり、社会的貢献の面からもその役割は重要なもので、更なる取り組みを推進しています。



電線事業

素材を究めた信頼性で 業界トップシェアを獲得

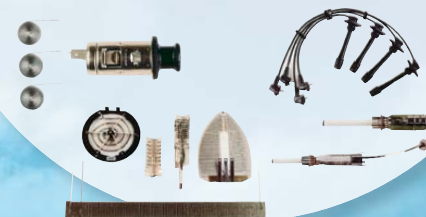
多彩な製品ラインナップ。あらゆる現場のニーズに対応します。
キャブタイヤケーブルをはじめとする各種電線は、天然ゴム・合成ゴム・プラスチックなどを主原料としています。三ツ星では、これら素材の特性を最大限に引き出し、つねに高品質な製品を生産し続け、多くのお客様より高い信頼を獲得してきました。これからも製品ラインナップを豊富に取り揃えることで、あらゆる現場でのニーズに対応。過酷な用途に耐え、作業の効率化や安全性、省コスト化に貢献できる製品づくりを目指します。



電熱線事業

電熱線分野で開発した高度の品質と技術を保有 高品質の製品とサービスを提供いたします

電熱線・抵抗線で線径0.04mmまでの極細線を量産製造し、品質面および技術面でお客から高い評価をいただいております。さらに、お客様のニーズに応えるため、0.02mmまでの極細線の製造も可能にしました。また、伸線および圧延のコア技術を多角的に展開し、モリブデン帯の製造やハステロイ、インコネル、インコロイといった高機能材料の伸線・圧延等にも積極的に取り組んでいます。



株主の皆様へ

To Our Stockholders

株主の皆様には、平素より格別のご支援を賜り厚く御礼申し上げます。
さて、当社グループ第72期(平成28年4月1日から平成29年3月31日
まで)の事業の概況をとりまとめましたので、ご報告申し上げます。

代表取締役社長

塚本聡一郎



Q 事業の概況を教えてください

A 当連結会計年度におけるわが国経済は、政府の各種経済政策の効果もあって、雇用、所得環境の改善が続く、緩やかな回復基調で推移いたしました。一方、世界経済は、中国に景気の持ち直しの傾向があるものの、米国新政権の政策変更の影響、英国のEU離脱問題、欧州の地政学リスクなどを要因とし、依然として不透明な状況が続いております。

当社グループに関連する経営環境につきましては、設備投資は持ち直しの動きがみられ、公共投資は底堅い動きとなっております。一方、新設住宅着工件数は、マイナス金利導入後の住宅ローン金利低下を受けて上期は急回復いたしましたが、下期においては持家および分譲住宅は横ばいとなりました。

このような状況のなか、当社グループの売上高は、主原材料である銅の価格が前期比で12%程下落したことによる売価の下落、大口案件の減少、子会社であるMITSUBOSHI THAI CO.,LTD.の解散等により前期を下回りました。

営業利益につきましては、原材料価格の低下および購入方法の多様化、新規取引先の開拓、生産性向上による原価低減、販管費の低減等により全事業で黒字となり、前期を上回りました。経常利益および親会社株主に帰属する当期純利益につきましては、上期において大きく発生していた為替差損も10月以降の円安傾向で減少し、日銀の金利政策等により支払利息も減少したこと等により前期を上回りました。

その結果、当連結会計年度における売上高は8,762百万円(前期比7.1%減)、営業利益は505百万円(前期比99.4%増)、経常利益は483百万円(前期比120.1%増)、親会社株主に帰属する当期純利益は358百万円(前期比206.4%増)となりました。

Q 対処すべき課題を教えてください

A 先行きにつきましては、雇用・所得環境の改善が続くなかで、各種政策の効果もあって、緩やかに回復していくことが期待されます。ただし、米国の金融政策正常化の影

響、中国をはじめアジア新興国の経済の先行きや政策に関する不確実性による影響、金融資本市場の変動、そして欧州、中東、極東アジアの地政学リスクが、経済等に与える影響について留意する必要があります。

電線事業につきましては、当事業に關係の深い公共事業関係費はほぼ前期並みの予算計画であり、後半においては東京オリンピック関連工事の本格化によりキャブタイヤケーブルの需要増も見込めると想定されます。このような状況のなか、国内外における新規案件の獲得の強化、グループ全体での最適生産体制の追求、コスト削減の取り組みによる原価低減活動の継続、顧客ニーズを踏まえた製品開発・製品改良により業績向上に努めてまいります。

ポリマテック事業につきましては、当事業に關係の深い住宅市場は新設住宅着工件数が減少すると見込まれております。さらに、原材料や物流費の値上げも見込まれ厳しい環境になると予測されます。

このような環境を踏まえ、住宅関連以外の業界開拓に注力するとともに、適正価格での販売・材料ロスの削減等の製造原価低減を徹底し、利益確保に努めてまいります。

電熱線事業につきましては、当事業に關係の深い白物家電機器分野は、今後もグローバルベースでの需要増は見込まれますが、電機メーカー間での厳しい競争の継続は不可避とみられ、今後の動向については留意を要します。また、中国経済は足元の景気は堅調に推移しているものの、今後も緩やかな減速が見込まれるなど新興国経済の不透明な状況が続いており、先行きについては海外向けの販売を中心に厳しい状況で推移していくと見込まれます。

このような状況を踏まえ、白物家電機器分野以外の新分野

開拓、海外市場開拓、新規顧客の獲得、取扱機種拡大に引き続き取り組むとともに生産性向上と原価低減を図り、業績の向上に努めてまいります。

当社は、平成29年3月24日をもちまして、設立70周年を迎えることができました。

これもひとえに株主の皆様のご支援、ご協力の賜物と厚くお礼申し上げます。

つきましては、株主の皆様の日頃のご支援に感謝の意を表して、記念配当をさせていただきます。

株主の皆様におかれましては、今後とも一層のご指導とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

平成29年6月

監査等委員会設置会社への移行

平成29年6月27日に開催されました第72期定時株主総会でのご承認により、当社は**監査役会設置会社**から**監査等委員会設置会社**へと移行しました。

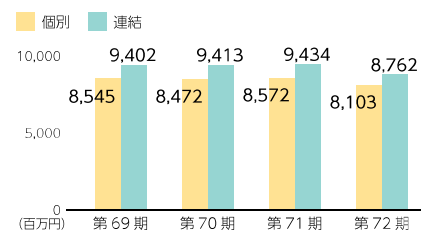
監査等委員会設置会社への移行は、昨今の持続的企業価値の向上に向けたコーポレート・ガバナンス(企業統治)の強化が上場企業を中心に求められており、取締役会の監査・監督機能の強化とコーポレート・ガバナンスのより一層の充実を図ることを目的としております。

今後は、監査等委員である取締役が取締役会の決議に加わり、幅広い視点で経営を議論していくことで、株主価値の向上に資する「攻め」のガバナンスを実現してまいります。

財務ハイライト

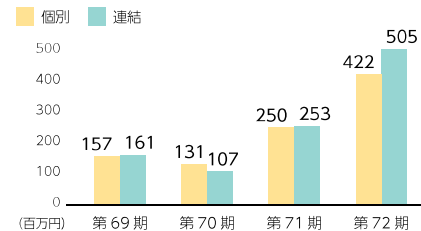
Financial Highlights

売上高



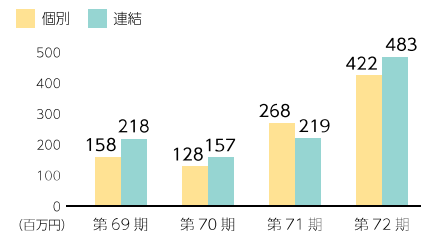
電線事業、ポリマテック事業、電熱線事業の各事業とも減収となり、前期に比べ減収となりました。

営業利益



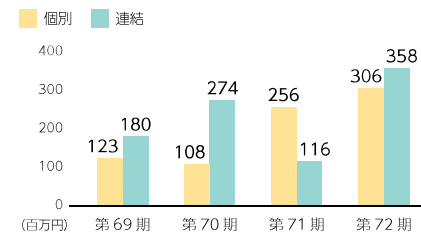
電線事業およびポリマテック事業で増益となり、電熱線事業は黒字に転換したことにより、前期に比べ増益となりました。

経常利益



前期に比べ増益となりました。

当期純利益および親会社株主に帰属する当期純利益

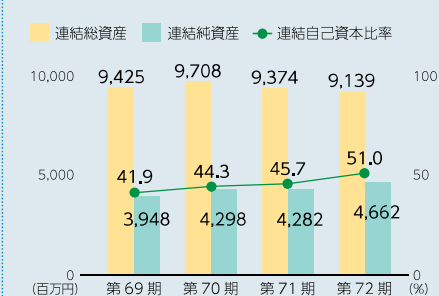


上期に発生していた為替差損も、10月以降の円安傾向で減少し、支払利息も減少したこと等により、前期に比べ増益となりました。

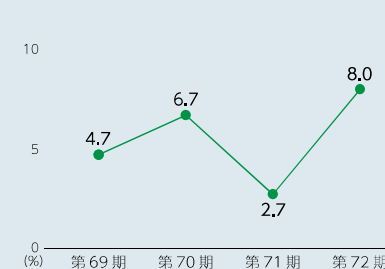
連結1株当たり当期純利益



連結総資産／連結純資産／連結自己資本比率



連結株主資本利益率 (ROE)

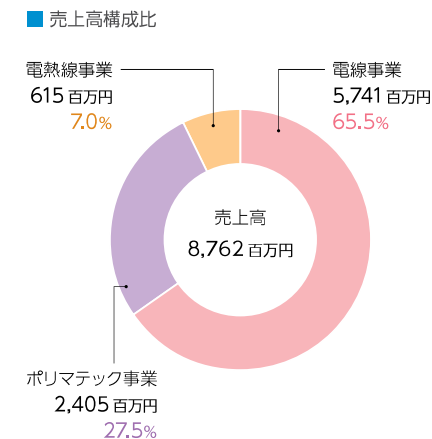
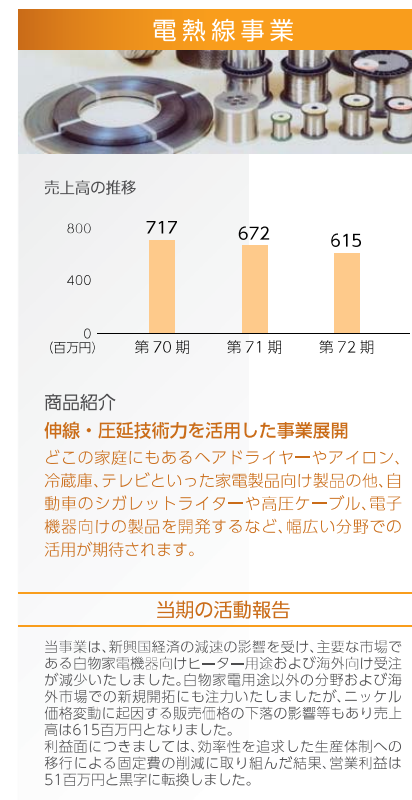
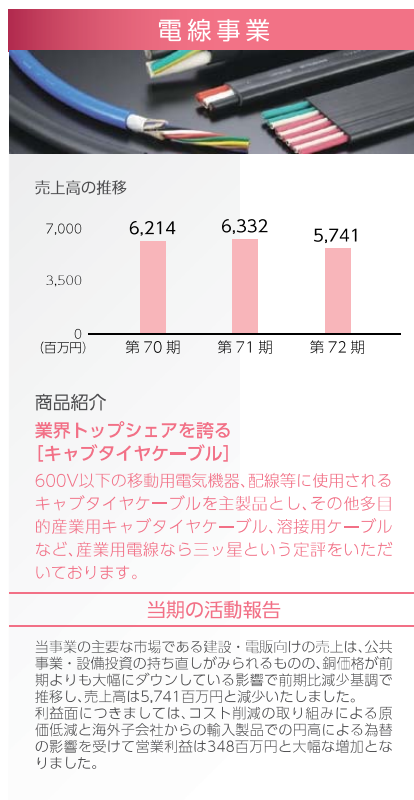


連結株価収益率 (PER)



事業別の概況

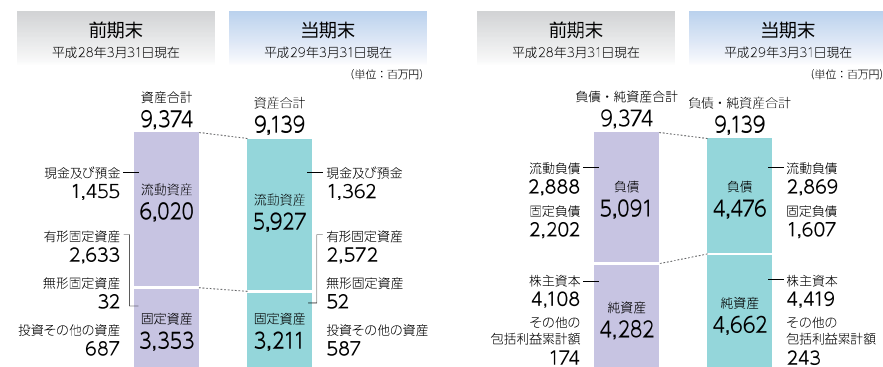
Segment Information



連結財務諸表

Consolidated Financial Statements

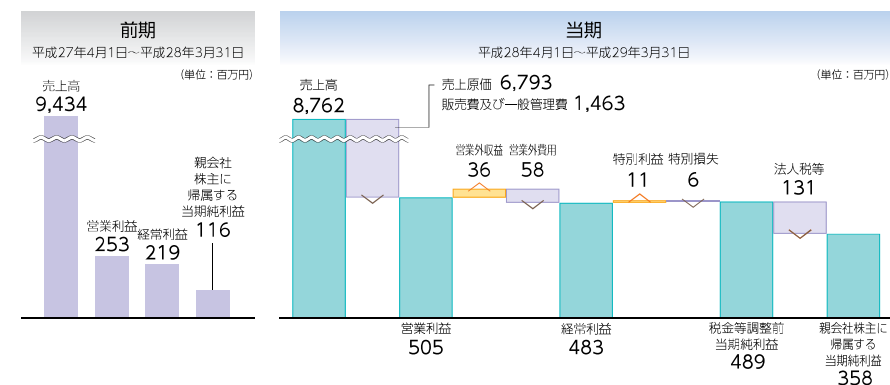
■ 連結貸借対照表



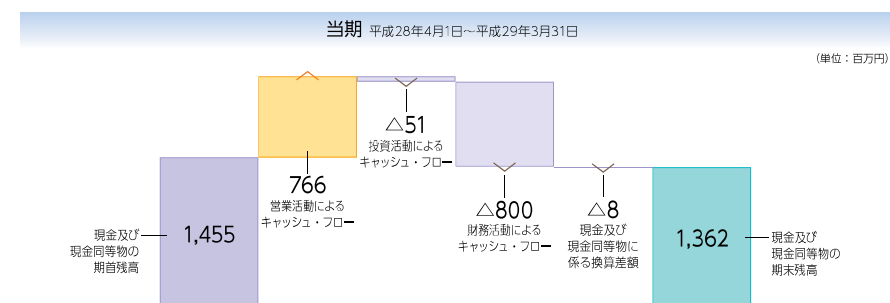
ポイント 解説

- 総資産額
前期末に比べ、2億34百万円減少し、91億39百万円となりました。
これは主に、たな卸資産と繰延税金資産の減少があったことによるものです。
- 負債総額
前期末に比べ、6億15百万円減少し、44億76百万円となりました。
これは主に、長期借入金の減少があったことによるものです。
- 純資産総額
前期末に比べ、3億80百万円増加し、46億62百万円となりました。
これは主に、利益剰余金の増加があったことによるものです。

■ 連結損益計算書



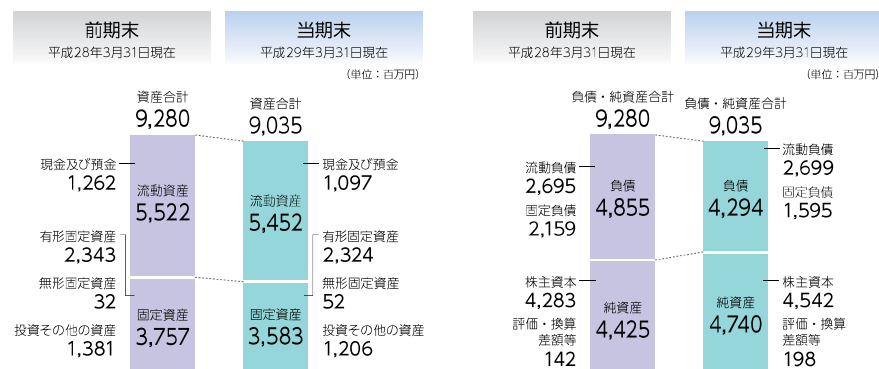
■ 連結キャッシュ・フロー計算書



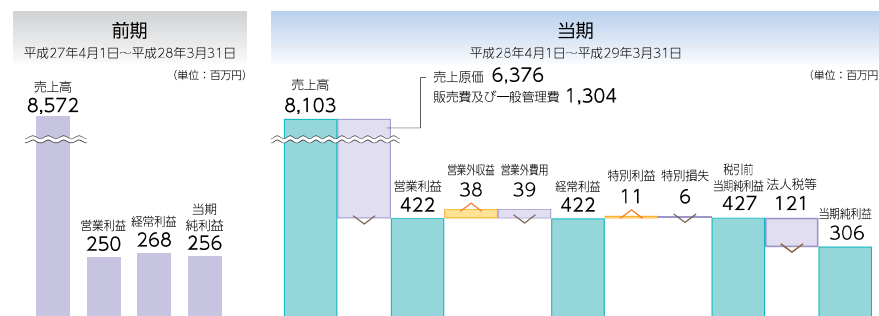
個別財務諸表

Non-Consolidated Financial Statements

貸借対照表



損益計算書



株式の状況／会社概要

Stock Information / Corporate Profile

株式の状況 (平成29年3月31日現在)

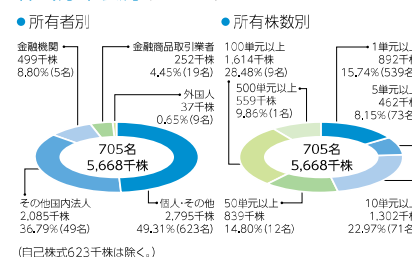
- 発行可能株式総数 19,000,000株
- 発行済株式の総数 5,709,521株
(自己株式623,755株を除く。)

- 株主数 899名
- 大株主

株主名	持株数(株)	持株比率(%)
有限会社ツカモト	559,000	9.79
スリースター有限会社	463,150	8.11
株式会社三菱東京UFJ銀行	200,750	3.52
津田電線株式会社	193,261	3.38
加藤清行	170,000	2.98
三井住友信託銀行株式会社	147,000	2.57
阿部須美子	124,000	2.17
西崎ひとみ	115,229	2.02
エスアールジータカミヤ株式会社	102,000	1.79
三京化成株式会社	100,000	1.75

(注) 1. 上記のほか、当社が自己株式623,755株を保有しております。
2. 持株比率は、自己株式を控除して計算しております。

株式分布状況 (単元株以上)



主要な事業内容

当社グループは、次の製品の製造・販売および仕入商品の販売を行っております。

事業部門	主 要 品 目
電線事業	天然ゴムキャブタイヤケーブル、合成ゴムキャブタイヤケーブル、架橋ポリエチレンケーブル、溶接用ケーブル、制御用ケーブル、プラスチックキャブタイヤケーブル、プラスチックコード、その他
ポリマテック事業	プラスチック押出成形品、射出成形品、真空成形品、高機能チューブ、LED関連商品、その他
電熱線事業	電熱線・帯、その他

役員 (平成29年6月27日現在)

代表取締役社長	塚本 聡一郎	執行役員 岡 橋 一 明
代表取締役副社長 執行役員	競 良 一	執行役員 松 山 元
取締役会長 (非常勤)	塚本 洋 一	執行役員 片 岡 潤 次
取締役 執行役員 (監査等委員)	金 城 安 弘	
取締役 (監査等委員)	村 角 末 義	
取締役 (監査等委員)	中 尾 巧	
取締役 (監査等委員)	辻 義 夫	

(注) 1. 平成29年6月27日付けで、監査役会設置会社から監査等委員会設置会社に移行しました。
2. 取締役村角末義氏、取締役中尾巧氏および取締役辻義夫氏は社外取締役であり、東京証券取引所の定めに基づく独立役員であります。

従業員の状況(当社グループ) (平成29年3月31日現在)

201名(98名)
従業員数は就業人員であり、パートおよび嘱託社員は()内に年間の平均人員を外数で記載しております。

ネットワーク

Network



主要な事業所

当社

本 社 〒543-0001
大阪市天王寺区上本町五丁目3番16号
TEL 06(6762)6953(代表)

大 阪 営 業 所 〒543-0001
大阪市天王寺区上本町五丁目3番16号

(電 線 事 業 部) TEL 06(6762)6931(代表)

(ポリマテック事業部) TEL 06(6762)6934(代表)

東 京 営 業 所 〒271-0068
千葉県松戸市古ヶ崎二丁目3207-2

(電 線 事 業 部) TEL 047(360)2821(代表)

(ポリマテック事業部) TEL 047(360)2901(代表)

九 州 営 業 所 〒815-0081
福岡市南区那の川一丁目9番19号
TEL 092(526)2615(代表)

仙 台 営 業 所 〒983-0044
仙台市宮城野区宮千代三丁目5番12号
桜木ビル1階
TEL 022(239)1271(代表)

名 古 屋 営 業 所 〒465-0095
名古屋市中東区高社1-253
一社プラザ4階402号室
TEL 052(760)4636(代表)

滋 賀 工 場 〒520-3306
滋賀県甲賀市甲南町柑子1061-3
TEL 0748(86)6104(代表)

羽 曳 野 工 場 〒583-0867
大阪府羽曳野市河原城534番地
TEL 072(939)4561(代表)

シルバー鋼機株式会社

本 社 〒140-0014
東京都品川区大井1-42-2
シルバービル
TEL 03(3773)9481(代表)

MITSUBOSHI PHILIPPINES CORPORATION

(フィリピン共和国) LOT11 BLOCK12 FIRST CAVITE
INDUSTRIAL ESTATE
BRGY.LANGKAAN,DASMARINAS,
CAVITE,PHILIPPINES4114

株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月
基準日	
定時株主総会	毎年3月31日
期末配当	毎年3月31日
株主名簿管理人 および特別口座の 口座管理機関	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
株主名簿管理人 事務取扱場所	大阪市中央区北浜四丁目5番33号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
郵便物送付先	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
電話照会先	電話 0120-782-031(フリーダイヤル)
インターネット ホームページURL	http://www.smtb.jp/personal/agency/index.html

公告方法 電子公告により行います。
ただし電子公告によることができない事故その他のやむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に掲載して行います。
当社の公告掲載URLは次のとおりです。
<http://www.kk-mitsuboshi.co.jp>

上場証券取引所 東京証券取引所JASDAQ(スタンダード)

証券コード 5820

住所変更、単元未満株式の買取・買増等のお申出先について

株主様の口座のある証券会社にお申出ください。
なお、証券会社に口座がないため特別口座が開設されました株主様は、特別口座の口座管理機関である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。

「配当金計算書」について

配当金お支払いの際にご送付しております「配当金計算書」は、租税特別措置法の規定に基づく「支払通知書」を兼ねております。確定申告を行う際は、その添付資料としてご使用いただくことができます。
ただし、株式数比例配分方式をご選択いただいている株主様につきましては、源泉徴収税額の計算は証券会社等にて行われます。確定申告を行う際の添付資料につきましては、お取引の証券会社等にご確認をお願いします。
なお、配当金領収証にて配当金をお受取りの株主様につきましても、配当金のお支払いの都度「配当金計算書」を同封させていただきます。確定申告をなされる株主様は大切に保管ください。

未払配当金の支払いについて

株主名簿管理人である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。